

学校コード F127310108072

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

追手門学院大学 文学部 人文学科

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人 追手門学院
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名

職名・氏名

電話番号

(夜間)

e-mail

gakubusetchi@otemon.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 追手門学院

(2) 大学名

追手門学院大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒567-0013

大阪府茨木市太田東芝町1番1号

(〒567-8502)

(大阪府茨木市西安威2丁目1番15号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カワハラ トシアキ) 川原 俊明 (平成23年7月)		
学長	(シンドウ マサヒロ) 真銅 正宏 (令和2年4月)		
学部長	(ニシオ ノリアキ) 西尾 宣明 (令和4年4月)		
学科長等	—		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「[留学]」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
文学部 人文学科 学士(文学)	文学関係	4年	180人	2年次 0人 3年次 5人 4年次 0人	730人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	180 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.07倍	一倍	1.06倍	一倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	4,280 () []	() []	3,841 () []	() []					
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	4,185 () []	() []	3,785 () []	() []					
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	882 () []	() []	1,234 () []	() []					
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	195 () []	() []	191 () []	() []					
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	1.08	-	1.06	-					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	-	-	-	-	-	-	-	-	195	-	191	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[0]	[-]	[1]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2 年次	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-	193	-	
	/	/	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[0]	[-]	
	/	/	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3 年次	/	/	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-	
	/	/	/	/	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	/	/	/	/	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4 年次	/	/	/	/	/	/	-	-	-	-	-	-	
	/	/	/	/	/	/	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	/	/	/	/	/	/	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	195	-	384	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[0]	[-]	[1]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(0)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
令和元年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
令和2年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
令和3年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
令和4年度	195 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
			令和4年度	— 人	— 人	
令和5年度	384 人	2 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
			令和4年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、他の教育機関への入学・転学(1名)
			令和5年度	0 人	0 人	
合計		2 人		2 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{195} = \boxed{0} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{384} = \boxed{0.52} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

学科科目	専門関連科目群	国際科教育論3	3前	2										兼1	
		国際科教育論4	3後	2											兼1
		電子出版	2後	2											兼1
		第二言語習得	2前	2											兼1
		言語と心理	2後	2											兼1
		博物館概論	1・2・3前	2											兼1
		博物館経営論	2・3・4後	2											兼1
		博物館資料論	2・3・4前	2											兼1
		博物館資料保存論	2・3・4後	2											兼1
		博物館展示論	2・3・4前	2											兼1
		博物館教育論	2・3・4後	2											兼1
		博物館情報・メディア論	2・3・4後	2											兼1
		コンピュータデザイン	2・3・4前	2		1									
		博物館実習	3通	3											兼2
		製図基礎	1・2・3・4後	2		1	1								
		建築文化論1	2・3・4後	2											兼1
		建築文化論2	3・4前	2											兼1
		建築文化論3	3・4前	2			1								
		建築文化論4	3・4後	2											兼1
		専門関連科目群	小計(37科目)	—	0	74	0	2	1	0	0	0	0	0	0
学科科目	専門基礎科目群	文献講読	2前	2			8	5	3						
		専門演習1	2後	2			8	5	3						
		専門演習2	3前	2			8	5	3						
		専門演習3	3後	2			8	5	3						
		専門演習4	4前	2			8	5	3						
		専門演習5	4後	2			8	5	3						
		小計(6科目)	—	12	0	0	8	5	3	0	0	0	0	0	兼0
卒業研究	4通	6			8	5	3								
専門科目研究	小計(1科目)	—	6	0	0	8	5	3	0	0	0	0	0	兼0	
合計(244科目)		—	30	451	0	8	5	3	0	0	0	0	0	兼146	
卒業要件及び履修方法															
必修科目30単位、基礎教育科目の選択科目から22単位以上、学科科目の選択科目から32単位以上を修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:前期22単位、後期22単位) なお、専門基本科目の選択科目から12単位以上を選択必修とする。															

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 認申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために**未開講となった科目**についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 ・ **1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。**
 ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「**臨地実務実習**」による授業科目には「【臨】」、「**連携実務演習**」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。
- (1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・ 「日本語表現」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「日本語表現」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任6」に変更
 - ・ 「総合英語1」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「総合英語1」の専任教員等の配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任11」に変更
 - ・ 「総合英語2」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「総合英語2」の専任教員等の配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任11」に変更
 - ・ 「Online English Seminar1」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「Online English Seminar1」の専任教員等の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任10」に変更
 - ・ 「Online English Seminar2」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「Online English Seminar2」の専任教員等の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任10」に変更
 - ・ 「Online English Seminar3」：クラス数の減少に伴い「Online English Seminar3」の専任教員等の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任3」に変更
 - ・ 「Online English Seminar4」：クラス数の減少に伴い「Online English Seminar4」の専任教員等の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任3」に変更
 - ・ 「ドイツ語1」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「ドイツ語1」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更
 - ・ 「ドイツ語2」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「ドイツ語2」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更
 - ・ 「フランス語1」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「フランス語1」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更
 - ・ 「フランス語2」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「フランス語2」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更
 - ・ 「日本語読解中級語2」：教員間の調整により「日本語読解中級語2」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
 - ・ 「ネイチャークアティビティ2」：同科目は学外においてスポーツやキャンプ等を行う実習科目であるが、コロナ感染予防のため、「ネイチャークアティビティ2」は未開講となった。
 - ・ 「知の探究」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「知の探究」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「准教授1」「兼任・兼任9」に変更
- ・ 「未来課題」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「未来課題」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
 - ・ 「L&Sゼミ」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「L&Sゼミ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任5」に変更
 - ・ 「芸術学」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「芸術学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更
 - ・ 「日本文学」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「日本文学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「教授1」「准教授1」「兼任・兼任3」に変更
 - ・ 「西洋文学」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「西洋文学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「准教授1」「兼任・兼任6」に変更
 - ・ 「言語学」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「言語学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「教授1」「兼任・兼任2」に変更
 - ・ 「日本史」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「日本史」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「教授1」「准教授1」「兼任・兼任2」に変更
 - ・ 「アジア・オセアニア史」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「アジア・オセアニア史」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更
 - ・ 「西洋史」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「西洋史」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更
 - ・ 「民俗学」：教員間の調整により「民俗学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任4」に変更
 - ・ 「法学」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「法学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任6」に変更
 - ・ 「日本国憲法」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「日本国憲法」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更
 - ・ 「国際関係論」：教員間の調整により「国際関係論」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更
 - ・ 「経営学」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「経営学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更
 - ・ 「社会・経済思想」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「社会・経済思想」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
 - ・ 「社会学」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「社会学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任4」に変更
 - ・ 「ものの科学」：教員間の調整により「ものの科学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更
 - ・ 「自己との対話」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「自己との対話」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・ 「追手門アイデンティティ」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「追手門アイデンティティ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任5」に変更
 - ・ 「ファシリテーション入門」：履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「ファシリテーション入門」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更
 - ・ 「日本事情1」：教員間の調整により「日本事情1」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
 - ・ 「日本事情2」：教員間の調整により「日本事情2」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
 - ・ 学科科目の科目区分名を追加・変更。それに伴い小計欄を追加変更した。それに伴い、卒業要件及び履修方法の科目区分名称を修正
 - ・ 「新入生演習」：専任教員の就任辞退及び兼任教員の所属学部が文学部へ異動したことにより「新入生演習」の専任教員等の配置を「教授8」「准教授4」「講師3」から「教授7」「准教授5」「講師3」に変更
 - ・ 「日本語入門」：専任教員の就任辞退により「日本語入門」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授4」「講師3」から「教授4」「准教授4」「講師3」に変更
 - ・ 「人文学演習」：兼任教員が所属学部を文学部へ異動したことにより「人文学演習」の専任教員等の配置を「教授7」「准教授4」「講師3」から「教授7」「准教授5」「講師3」に変更
 - ・ 「西洋史概説1」「西洋史概説2」「東洋史概説1」「東洋史概説2」を教職課程認定申請の指摘に伴い「専門関連科目」から「専門基幹科目」の区分へ変更した。それに伴い、「兼任・兼任」教員をそれぞれ1名ずつ追加し、小計の値を変更した。
 - ・ 「書道」「書道2」「人文地理学概説1」「人文地理学概説2」「自然地理学概説1」「自然地理学概説2」を教職課程認定申請の指摘に伴い「専門関連科目」から「専門展開科目」の区分へ変更した。それに伴い、「兼任・兼任」教員をそれぞれ1名ずつ追加し、小計の値を変更した。
 - ・ 「国語科教育研究1」「国語科教育研究2」を教職課程認定申請の指摘に伴い、「国語科教育論3」「国語科教育論4」に変更
 - ・ 履修登録者数に基づくクラス数の増加に伴い「製図基礎」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」「准教授1」に変更
 - ・ 「建築文化論3」：兼任教員の所属学部が文学部へ変更したことに伴い、「兼任・兼任1」から「准教授1」へ変更
 - ・ 「西洋史概説1」「西洋史概説2」「東洋史概説1」「東洋史概説2」「書道1」「書道2」「人文地理学概説1」「人文地理学概説2」「自然地理学概説1」「自然地理学概説2」を教職課程認定申請の指摘に伴い「専門関連科目」もしくは「専門展開科目」の区分へ変更した。それに伴い、「兼任・兼任」教員をそれぞれ1名ずつ減じ、小計の値を変更した。

【令和5年度】

- ・体系的な一般教養科目の枠組み見直しにより、科目区分名を「基盤教育科目」から「共通教育科目」へと名称変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「総合英語2」の教員の配置を「兼11」から「兼12」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「Online English Seminar1」の教員の配置を「兼10」から「兼11」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「Online English Seminar2」の教員の配置を「兼10」から「兼11」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「Online English Seminar3」の教員の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「Online English Seminar4」の教員の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「フランス語1」の教員の配置を「兼4」から「兼6」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「フランス語2」の教員の配置を「兼4」から「兼5」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「スポーツ実習1」の教員の配置を「兼7」から「兼8」に変更。
 - ・届出時誤記のため、「スポーツ実習1」の配当年次を「2前」から「1前」に変更。
 - ・届出時誤記のため、「スポーツ実習2」の配当年次を「2後」から「1後」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「ネイチャーアクティビティ2」の教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「未来課題」の教員の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「L&Sゼミ」の教員の配置を「兼5」から「兼7」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「芸術学」の教員の配置を「兼5」から「教授1」「兼6」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「西洋文学」の教員の配置を「准教授1」「兼6」から「講師1」「兼8」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「言語学」の教員の配置を「教授1」「兼2」から「教授1」「兼3」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「日本史」の教員の配置を「教授1」「准教授1」「兼2」から「教授1」「准教授1」「兼5」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「西洋史」の教員の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「民俗学」の教員の配置を「兼4」から「兼5」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「法学」の教員の配置を「兼6」から「兼4」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「日本国憲法」の教員の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「政治学」の教員の配置を「兼4」から「兼3」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「国際関係論」の教員の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「経済学」の教員の配置を「兼5」から「兼6」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「社会学」の教員の配置を「兼4」から「兼5」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「教育学」の教員の配置を「兼4」から「兼3」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「社会の心理」の教員の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「認知の科学」の教員の配置を「兼4」から「兼6」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「情報の科学」の教員の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
-
- ・適正なクラス数の配置により「キャリア実践英語1」の教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「キャリア実践英語2」の教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
 - ・「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」（三省合意）に合わせて「インターンシップ実習Ⅰ」の配当年次を「1・2・3通」から「3・4通」に変更。
 - ・「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」（三省合意）に合わせて「インターンシップ実習Ⅱ」の配当年次を「1・2・3通」から「3・4通」に変更。
 - ・「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」（三省合意）に合わせて「インターンシップ実習Ⅲ」の配当年次を「1・2・3通」から「3・4通」に変更。
 - ・「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」（三省合意）に合わせて「インターンシップ実習Ⅳ」の配当年次を「1・2・3通」から「3・4通」に変更。
-
- ・専任教員組織の変更により「新入生演習」の教員の配置を「教授7」「准教授5」「講師3」から「教授10」「准教授4」「講師3」に変更。
 - ・専任教員組織の変更により「日本学入門」の教員の配置を「教授4」「准教授4」「講師3」から「教授7」「准教授3」「講師2」に変更。
 - ・専任教員組織の変更により「人文学演習」の教員の配置を「教授7」「准教授5」「講師3」から「教授10」「准教授4」「講師3」に変更。
 - ・教員間の調整により「文化人類学」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「日本文化論」の教員の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
 - ・教員間の調整により「美学概論」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「日本美術史概論」の教員の配置を「兼1」から「教授1」「兼1」に変更。
 - ・教員間の調整により「日本文学1（古典）」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
 - ・教員間の調整により「日本文学1（古典）」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
 - ・教員間の調整により「日本文学3（超域）」の教員の配置を「講師1」から「教授1」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「東洋史概説1」の教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「東洋史概説2」の教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
 - ・適正なクラスの配置により「日本文化史1」の教員の配置を「兼1」から「教授1」「兼1」に変更。
 - ・適正なクラスの配置により「日本文化史2」の教員の配置を「准教授1」から「教授1」「准教授1」に変更。
 - ・適正なクラスの配置により「西洋文化史1」の教員の配置を「兼1」から「講師1」「兼1」に変更。
 - ・適正なクラスの配置により「西洋文化史2」の教員の配置を「兼1」から「講師1」「兼1」に変更。
 - ・教員組織の変更により「シナリオ論」の教員の配置を「講師1」から「教授1」に変更。
 - ・教員組織の変更により「アニメ・漫画文化論」の教員の配置を「講師1」から「教授1」に変更。
 - ・教員組織の変更により「日本文学特殊講義3（超域）」の教員の配置を「講師1」から「教授1」に変更。
 - ・職位の変更により「メディア文化論」の教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
-
- ・職位の変更により「ポップカルチャー論」の教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 - ・カリキュラム充実化のため「建築文化設計1」の科目を新規追加。
 - ・カリキュラム充実化のため「建築文化設計2」の科目を新規追加。
 - ・適正なクラス数の配置により「都市文化史」の教員の配置を「准教授1」から「准教授1」「講師1」に変更。
 - ・職位の変更により「都市景観論」の教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 - ・職位の変更により「生活文化史」の教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 - ・教員間の調整により「居住空間史」の教員の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
 - ・教員間の調整により「日本建築史」の配当年次を「2・3・4後」から「2・3・4前」に変更。
 - ・教員間の調整により「西洋建築史」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「西洋建築史」の教員配置を「教授1」から「教授1」「講師1」に変更。
 - ・カリキュラム充実化のため「建築文化計画」の科目を新規追加。
 - ・カリキュラム充実化のため「建築の環境1」の科目を新規追加。
 - ・カリキュラム充実化のため「建築の環境2」の科目を新規追加。
 - ・適正なクラス数の配置により「地誌学1」の教員の配置を「教授1」から「教授1」「兼1」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「地誌学1」の教員の配置を「教授1」から「教授1」「兼1」に変更。
 - ・教員間の調整により「言語と心理」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
 - ・教員間の調整により「博物館資料保存論」の配当年次を「2・3・4後」から「2・3・4前」に変更。
 - ・教員間の調整により「コンピュータデザイン」の教員の配置を「教授1」から「教授1」「准教授1」「兼1」に変更。
 - ・教員間の調整により「製図基礎」の教員の配置を「教授1」「准教授1」から「教授1」「准教授1」「講師1」に変更。
 - ・カリキュラム充実化のため「建築の構造1」の科目を新規追加。
 - ・カリキュラム充実化のため「建築の構造2」の科目を新規追加。
 - ・教員間の調整により「法律学概論2」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「社会学概論1」の教員の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
 - ・適正なクラス数の配置により「社会学概論2」の教員の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
 - ・カリキュラム充実化のため「哲学概論1」の科目を新規追加。
 - ・カリキュラム充実化のため「哲学概論2」の科目を新規追加。
 - ・教員間の調整により「社会教育概論2」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
 - ・カリキュラム充実化のため「国際コミュニケーション論」の科目を新規追加。
 - ・カリキュラム充実化のため「国際事情」の科目を新規追加。
 - ・カリキュラム充実化のため「国際特別演習」の科目を新規追加。
 - ・カリキュラム充実化のため「国際表現演習」の科目を新規追加。

- ・専任教員組織の変更により「文献講読」の教員の配置を「教授8」「准教授5」「講師3」から「教授9」「准教授4」「講師3」に変更。
- ・専任教員組織の変更により「専門演習1」の教員の配置を「教授8」「准教授5」「講師3」から「教授10」「准教授4」「講師3」に変更。
- ・専任教員組織の変更により「専門演習2」の教員の配置を「教授8」「准教授5」「講師3」から「教授10」「准教授4」「講師3」に変更。
- ・専任教員組織の変更により「専門演習3」の教員の配置を「教授8」「准教授5」「講師3」から「教授10」「准教授4」「講師3」に変更。
- ・専任教員組織の変更により「専門演習4」の教員の配置を「教授8」「准教授5」「講師3」から「教授10」「准教授4」「講師3」に変更。
- ・専任教員組織の変更により「専門演習5」の教員の配置を「教授8」「准教授5」「講師3」から「教授10」「准教授4」「講師3」に変更。
- ・専任教員組織の変更により「卒業研究」の教員の配置を「教授8」「准教授5」「講師3」から「教授10」「准教授4」「講師3」に変更。

- (注) ・ 2 (1) - ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
14 科目	230 科目	0 科目	244 科目	14 科目 [0]	243 科目 [13]	0 科目 [0]	257 科目 [13]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						
4						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{244} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	茨木総持寺キャンパスと 運動場用地のある茨木安 威キャンパスまでは 2km(スクールバスで約8 分) 茨木安威キャンパスにお いて学内再整備として校 舎敷地及び運動場用地の 見直しを行い、一部をそ の他に変更したため(4)			
	校 舎 敷 地	78,139 m ² 96,535 m²	0 m ²	0 m ²	78,139 m ² 96,535 m²				
	運 動 場 用 地	13,837 m ² 14,673 m²	14,955 m ²	0 m ²	28,792 m ² 29,628 m²				
	小 計	91,976 m ² 111,208 m²	14,955 m ²	0 m ²	106,931 m ² 126,163 m²				
	そ の 他	63,556 m ² 44,324 m²	0 m ²	0 m ²	63,556 m ² 44,324 m²				
	合 計	155,532 m ²	14,955 m ²	0 m ²	170,487 m ²				
(2) 校 舎	専 用	114,192 m ² 112,573 m² 112,584 m ²	0 m ²	0 m ²	114,192 m ² 112,573 m² 112,584 m ²	老朽化のため茨木安威 キャンパスの温室を取り 壊したため(4) 茨木総持寺キャンパスに 建設中の新校舎実施設計 に基づく校舎面積の変更 のため(5)			
	(69,335 m ²) (69,346 m²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(69,335 m ²) (69,346 m²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	138 室 118 室 20 室	演 習 室 109 室 32 室 138 室	実験実習室 27 室 116 室	情報処理学習施設 7 室 (補助職員 6 人 5 人)	教室等の用途の見直しを 行ったため(4) 茨木総持寺キャンパスに 建設中の新校舎内設計 (教室等)に基づく室数の 変更のため(5) 人員配置変更のため (5)			
	語学学習施設 1 室 3 室 (補助職員 6 人 5 人)								
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室 数							
	文学部 人文学科	17 16 室							
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 図書 142,070冊 〔38,680冊〕 学術雑誌 1,372冊 〔473冊〕 電子ジャーナル 7,936冊 〔4,130冊〕 視聴覚資料 7,924冊 〔1,6097-924冊〕 学術雑誌：記事の除籍・廃 棄処理を行った。なお、記 要については多くの研究機 関で電子書籍化され、該当 大学図書館 HP、リボジトリ 等で閲覧可となっているこ とから、本図書館に冊子 体がなくとも支障が発生し ない。(4)	
	文学部	54,460 [4,930] (54,631 [5,165]) (54,208 [5,148]) (54,130 [4,903])	220 [45] 542 [40] 220 [45] 542 [40]	13 [13] (13 [13])	1,017 995 (1,024) (1,017) (991)	19,483 19,372 19,483 (19,372) (10,852)	0 (0)		
	計	54,460 [4,930] (54,631 [5,165]) (54,208 [5,148]) (54,130 [4,903])	220 [45] 542 [40]	13 [13]	1,017 995 (1,024) (1,017) (991)	19,483 19,372 19,483 (19,372) (10,852)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積	閲覧座席数		取 納 可 能 冊 数			図書館3F、4Fの用途を講 義・演習室から書庫に変 更したため(4) 新型コロナウイルス感染 拡大防止の目的で座席を減 らしたため(5) 令和4年9月に図書館棟 3F、4Fに書架を新たに設 置したため。 3F:16,500冊、4F:15,900 冊(5)		
	4,600 m ² 4,268 m ²	619 席 636 席 647 席		547,224 冊 514,824 冊					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	4,321 m ²	テニスコート アーチェリー場		トレーニングセンター 多目的練習場(学生会センター1F)					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	開設年度の教員1人当り研究費等 について、コロナにより旅費など が減少したため(5)
		教員1人当り研究費等	302千円 350千円	350千円	図書購入費	862千円 644千円	5,697千円 3,716千円 562千円	2,249千円	
	共同研究費等	24,119千円 35,793千円 34,500千円	34,500千円	設備購入費	11,941千円 397千円	11,626千円 12,067千円 747千円	1,589千円	・開設年度の共同研究費等につ いて、プロジェクト型の採択件数が 減少したため(5) ・開設年度の設備購入費につ いて、必需品を最適な価格で調達 したため(5)	
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,195千円	第2年次 1,195千円	第3年次 1,195千円	第4年次 1,195千円	第5年次 千円	第6年次 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、受取利息・配当金収入、雑収入等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA/C対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	追手門学院大学										平均入学定員超過率1.15倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率(控除後)	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(AC期間の学科のみ)	定員変更年度	開設年度	所在地	備考					
文学部	4	180	3年次5人	360	—	1.07	—	1.06	—	—	令和4	—						
人文学科	4	180	3年次5人	360	学士(文学)	1.07	—	1.06	—	—	令和4	大阪府茨木市太田東芝町1番1号						
国際学部	4	150	3年次5人	300	—	0.98	—	0.97	—	—	令和4	—						
国際学科	4	150	3年次5人	300	学士(国際学)	0.98	—	0.97	—	—	令和4	同上						
国際教養学部	4	—	—	680	—	—	—	—	—	—	平成19	—						
国際教養学科	4	—	—	310	学士(国際教養学)	—	—	—	—	—	平成19	同上	令和4年度より学生募集停止					
国際日本学科	4	—	—	370	学士(国際教養学)	—	—	—	—	—	平成19	同上	令和4年度より学生募集停止					
心理学部	4	220	3年次10人	900	—	1.06	—	1.02	—	—	平成18	—						
心理学科	4	220	3年次10人	900	学士(心理学)	1.06	—	1.02	—	—	平成18	1年次：大阪府茨木市太田東芝町1番1号 2-4年次：大阪府茨木市西安威二丁目1番15号						
社会学部	4	350	3年次7人	1,294	—	1.01	—	0.99	—	—	平成18	—						
社会学科	4	350	3年次7人	1,294	学士(社会学)	1.01	—	0.99	—	令和2	平成18	同上	令和2年度入学定員増(120人)					
法学部	4	230	—	230	—	0.99	—	0.99	—	—	令和5	—						
法律学科	4	230	—	230	学士(法学)	0.99	—	0.99	—	—	令和5	1-2年次：大阪府茨木市太田東芝町1番1号 3-4年次：大阪府茨木市西安威二丁目1番15号						
経済学部	4	400	3年次10人	1,620	—	1.05	—	1.01	—	—	昭和41	—						
経済学科	4	400	3年次10人	1,620	学士(経済学)	1.05	—	1.01	—	—	昭和41	1年次：大阪府茨木市太田東芝町1番1号 2-4年次：大阪府茨木市西安威二丁目1番15号						
経営学部	4	443	3年次7人	1,786	—	1.05	—	1.02	—	—	平成7	—						
経営学科	4	443	3年次7人	1,786	学士(経営学)	1.05	—	1.02	—	—	平成7	同上						
マーケティング学科	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	平成17	同上	令和元年度より学生募集停止					
地域創造学部	4	230	—	920	—	1.04	—	1.03	—	—	平成27	—						
地域創造学科	4	230	—	920	学士(地域創造学)	1.04	—	1.03	—	令和2	平成27	大阪府茨木市太田東芝町1番1号	令和2年度入学定員増(80人)					
大学全体	—	2,203	44	8,090	—	—	—	—	—	—	—	—						

(注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください)。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとに、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「—」としてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず本学にしてください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画	
届 出 時 (令和3年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	文学部人文学科の専任教員の年齢構成については、完成年度において定年を超えて専任教員として採用されている教員が15人中4人(26.7%)の計画であったが、うち1人が健康上の理由により未就任となった。なお、令和4年度に後任を補充するにあたり、年齢構成を配慮した採用を行っている。また、令和4年度に青島 啓太准教授を兼任教員から文学部人文学科の専任教員に異動した。完成年度において定年を超えて専任教員として採用されている他の3人も70歳で任期を満了するので、その後任補充にあたっては年齢構成を考慮した計画的な採用を行っていく予定である。(4) 完成年度において定年を超えて専任教員として採用されている専任教員については70歳で任期を満了する教員の後任補充を目的として新たに松井健太講師を専任教員として就任していただいている。なお後任補充にあたっては、令和5年度においても引き続き、年齢構成を配慮した採用を行っていくようにする。(5)	履行中	左記のとおり、後任補充にあたっては年齢構成を考慮した計画的な採用を行っていく予定である。
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	該当なし			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<文学部 人文学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 科目数 選択科目 230科目 451単位	① カリキュラム拡充のため、選択科目(13科目・36単位)を追加。(添付資料1「追手門学院大学学則新旧対照表(抜粋)」参照)

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・文学部におけるFaculty Development(以下「FD」)活動を推進するため、FD推進委員会(以下「FD委員会」)を置く。文学部FD委員会を主導のもと、文学部FD会議等を開催し、FD活動の活発化や、教育の質向上に向けた組織的な研究及び研修活動に取り組んでいるが、全学的な基本方針の策定にあたっては、教育支援センターを設置してこれを推進している。
- ・教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための組織的な取組であるスタッフ・ディベロップメント(以下「SD」という。)を推進し、SDの取組方針及びその方策を企画検討するため、スタッフ・ディベロップメント委員会(以下「SD委員会」)を設置してこれを推進している。

添付資料2：文学部FD推進委員会規程
添付資料3：追手門学院大学教育支援センター規程
添付資料4：追手門学院スタッフ・ディベロップメント規程

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

FD委員会：5月以降、各学期2回(年間4回)程度で実施予定。

SD委員会：年1回程度の開催を見込んでおり、学長も構成員としている。

c 委員会の審議事項等

FD委員会：授業の内容及び方法の改善・向上に関わること。

SD委員会：

- ・SD活動の企画、立案、実施及び評価・検証に関すること。
- ・複数の所属で実施されるSD及びFDとの連絡調整に関すること。
- ・その他SDに関し委員長が必要と認めた事項に関すること。

② 実施状況

a 実施内容

FD推進委員会：

- ・授業の内容及び方法の改善し、向上を図るための組織的な研究及び研修を推進。

SD委員会：

- ・職員に必要な知識及び技能の習得ならびに能力の向上を図るため、SD活動の企画、立案、実施及び評価・検証を推進。

b 実施方法

FD研修：

- ・テーマを決めて学部教員間で議論をし、教育改善の意識を高めるとともに教育改善に繋げる。
- ・教育支援センターによるシラバスの作成支援を実施する。
- ・授業担当教員と教育支援センター担当教員による共同での改善策を模索する授業コンサルテーションを実施する。
- ・教育支援センター担当教員による学部教員一人ひとりの特性把握の支援、個別ヒアリングおよび個別コンサルテーションを実施する。
- ・FDに関する講演会・セミナーを開催する。
- ・授業方法改善のための研修は全教員を対象に、教員相互の授業参観、授業コンサルテーション等の研修は新任教員を対象に、それぞれ実施する予定である。

SD研修：

- ・対面とオンラインを併用して実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

FD研修：令和4年 7月21日（17名）
令和5年 3月22日（17名）

SD研修：年1回実施。

教員も対象とする全体研修をオンラインにて実施した。対象を限定した対面研修も複数回行った。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD研修：新たに導入されたLMSの活用方法について情報交換を行い、旧LMSとの違いをまとめたマニュアルを作成し、構成員に共有した。演習科目に関して、教員によって評価に差が出ないように指導方法や採点基準について協議した。演習科目の連続欠席者に対する支援体制を検討し、確立した。

SD研修：教職員個々人が授業改善への意識を持ち、各々の部署において取り組みを推進している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・有。1回目：5月15日～28日、2回目：7月3日～20日

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・教務システム（CAMPUSSQUARE）を通じて公開する。また、教員による講評も教務システムを通じて記入される。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1. 設置の概要

文学部は、日本の言語、歴史、文化への深い知識を持ったうえで、異なる歴史や文化的背景を理解・尊重できる人材を育成することを目的としている。国際教養学部国際日本学科を前身として発展的に改組し、令和4年4月に設置された。

2. 学生の修学状況

入学定員180名に対し、開設初年次である令和4年度は195名、令和5年度は191名と、教育活動に支障がない範囲で、定員を上回る入学者を確保することができた。

また、令和4年度の退学者は合計2名と退学率を約1%にとどめることができた。

3. 教育活動

入学後、授業開始前に新入生オリエンテーションを実施し、学生生活の心得やカリキュラム、卒業要件の説明を行い、4年間の学生生活をイメージできるように努めた。

通常の専攻導入科目と併せて、少人数制の全員履修科目として春学期は「新入生演習」を開講し、図書館利用方法をはじめ、ノートテイキング、リーディング、ライティング、プレゼンテーションなど学生として必要なアカデミックスキルの基礎を学修させた。秋学期は後継科目として「人文学演習」を開講し、引き続きアカデミックスキルの涵養に加え、2年次から始まるゼミ選択に向けて、教員による専門分野の魅力の紹介などを行った。

前述の全員履修科目の担当教員を学生の指導担当教員（アカデミック・アドバイザー）とし、定期的に出欠確認および連続欠席者への状況確認連絡・指導を行うフォロー体制を確立した。

4. 総評

以上のことから、設置の趣旨・目的は学生の修学状況および実施した教育内容の両面から見ても、遅滞なく遂行されていると考える。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和4年8月1日 公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告をまとめ、大学ホームページ上に公開予定（令和5年8月上旬を予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和6年に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

追手門学院大学学則（昭和41年制定）新旧対照表（抜粋）

新	旧
<p>第10条 授業科目は、<u>共通教育科目</u>、学科科目及び資格取得に関する科目に分ける。</p> <p>2 <u>共通教育科目</u>は、ファウンデーション科目群、リベラルアーツ・サイエンス科目群、主体的学び科目群に区分する。</p> <p>(1)～(3) (略)</p> <p>第11条 <u>共通教育科目</u>及び学科科目の種類並びに単位数は、別表第1のとおりとする。</p> <p>第13条 授業科目は、各学部の定める履修方法に従って、所定の単位を修得しなければならない。</p> <p>(1) 文学部</p> <p>① <u>共通教育科目</u> 28単位以上</p> <p>② 学科科目 68単位以上</p> <p>(2) 国際学部 (省略)</p> <p>(3) 心理学部 (省略)</p> <p>(4) 社会学部 (省略)</p> <p><u>(5) 法学部</u> (省略)</p> <p><u>(6) 経済学部</u> (省略)</p> <p><u>(7) 経営学部</u> (省略)</p> <p><u>(8) 地域創造学部</u> (省略)</p> <p>第27条 本大学を卒業した者には、次のとおり学位を授与する。</p> <p>文学部</p>	<p>第10条 授業科目は、<u>基盤教育科目</u>、学科科目及び資格取得に関する科目に分ける。</p> <p>2 <u>基盤教育科目</u>は、ファウンデーション科目群、リベラルアーツ・サイエンス科目群、主体的学び科目群に区分する。</p> <p>(1)～(3) (略)</p> <p>第11条 <u>基盤教育科目</u>及び学科科目の種類並びに単位数は、別表第1のとおりとする。</p> <p>第13条 授業科目は、各学部の定める履修方法に従って、所定の単位を修得しなければならない。</p> <p>(1) 文学部</p> <p>① <u>基盤教育科目</u> 28単位以上</p> <p>② 学科科目 68単位以上</p> <p>(2) 国際学部 (省略)</p> <p>(3) 心理学部 (省略)</p> <p>(4) 社会学部 (省略)</p> <p>(新設) (省略)</p> <p><u>(5) 経済学部</u> (省略)</p> <p><u>(6) 経営学部</u> (省略)</p> <p><u>(7) 地域創造学部</u> (省略)</p> <p>第27条 本大学を卒業した者には、次のとおり学位を授与する。</p> <p>文学部</p>

人文学科 学士 (文学)
 国際学部
 国際学科 学士 (国際学)
 心理学部
 心理学科 学士 (心理学)
 社会学部
 社会学科 学士 (社会学)
法学部
法律学科 学士 (法学)
 経済学部
 経済学科 学士 (経済学)
 経営学部
 経営学科 学士 (経営学)
 地域創造学部
 地域創造学科 学士 (地域創造学)

2 (略)

別表第1 (第11条関係)

1 共通教育科目

(1) ファウンデーション科目群

科目分野	授業科目	単位数
初年次科目	数的処理入門	2
	日本語表現	2
	コンピュータ入門1	1
	コンピュータ入門2	1
外国言語科目	総合英語1	2
	総合英語2	2
	Online English Seminar1	1
	Online English Seminar2	1
	Online English Seminar3	1
	Online English Seminar1	1

人文学科 学士 (文学)
 国際学部
 国際学科 学士 (国際学)
 心理学部
 心理学科 学士 (心理学)
 社会学部
 社会学科 学士 (社会学)
 経済学部
 経済学科 学士 (経済学)
 経営学部
 経営学科 学士 (経営学)
 地域創造学部
 地域創造学科 学士 (地域創造学)

2 (略)

別表第1 (第11条関係)

1 基盤教育科目

(1) ファウンデーション科目群

科目分野	授業科目	単位数
初年次科目	数的処理入門	2
	日本語表現	2
	コンピュータ入門1	1
	コンピュータ入門2	1
外国言語科目	総合英語1	2
	総合英語2	2
	Online English Seminar1	1
	Online English Seminar2	1
	Online English Seminar3	1
	Online English Seminar1	1

	ar4	
	Advanced English1	1
	Advanced English2	1
	Academic English1	1
	Academic English2	1
	ドイツ語1	1
	ドイツ語2	1
	フランス語1	1
	フランス語2	1
	中国語1	1
	中国語2	1
	日本語読解中級1	1
	日本語読解中級2	1
	日本語聴解中級1	1
	日本語聴解中級2	1
	日本語読解上級1	1
	日本語読解上級2	1
	日本語聴解上級1	1
	日本語聴解上級2	1
体育科目	スポーツ実習1	1
	スポーツ実習2	1
	ネイチャーアクティビティ1	1
	ネイチャーアクティビティ2	1

	ar4	
	Advanced English1	1
	Advanced English2	1
	Academic English1	1
	Academic English2	1
	ドイツ語1	1
	ドイツ語2	1
	フランス語1	1
	フランス語2	1
	中国語1	1
	中国語2	1
	日本語読解中級1	1
	日本語読解中級2	1
	日本語聴解中級1	1
	日本語聴解中級2	1
	日本語読解上級1	1
	日本語読解上級2	1
	日本語聴解上級1	1
	日本語聴解上級2	1
体育科目	スポーツ実習1	1
	スポーツ実習2	1
	ネイチャーアクティビティ1	1
	ネイチャーアクティビティ2	1

(2) リベラルアーツ・サイエンス科目群

科目分野	授業科目	単位数
リベラルアーツ・サイエンス系科目	知の探究	2
	未来課題	2
	L&Sゼミ	2
人文学系科目	哲学	2
	芸術学	2
	日本文学	2
	中国文学	2
	西洋文学	2

(2) リベラルアーツ・サイエンス科目群

科目分野	授業科目	単位数
リベラルアーツ・サイエンス系科目	知の探究	2
	未来課題	2
	L&Sゼミ	2
人文学系科目	哲学	2
	芸術学	2
	日本文学	2
	中国文学	2
	西洋文学	2

	言語学	2
	ことばと文化	2
	日本史	2
	アジア・オセアニア史	2
	西洋史	2
	人文地理学	2
	民俗学	2
	国際異文化理解1	10
	国際異文化理解2	10
社会科学系科目	法学	2
	日本国憲法	2
	政治学	2
	国際関係論	2
	経済学	2
	経営学	2
	社会・経済思想	2
	社会学	2
	社会福祉学	2
	教育学	2
	スポーツ学	2
	社会の心理	2
	認知の科学	2
自然科学系科目	ものの科学	2
	生命の科学	2
	情報の科学	2

(3) 主体的学び科目群

科目分野	授業科目	単位数
キャリア形成系科目	自己との対話	1
	追手門アイデンティティ	2
	イ	
	キャリアデザイン	2
	ボランティア論	2
	キャリア形成プロジェクト	2
	キャリア言語	2

	言語学	2
	ことばと文化	2
	日本史	2
	アジア・オセアニア史	2
	西洋史	2
	人文地理学	2
	民俗学	2
	国際異文化理解1	10
	国際異文化理解2	10
社会科学系科目	法学	2
	日本国憲法	2
	政治学	2
	国際関係論	2
	経済学	2
	経営学	2
	社会・経済思想	2
	社会学	2
	社会福祉学	2
	教育学	2
	スポーツ学	2
	社会の心理	2
	認知の科学	2
自然科学系科目	ものの科学	2
	生命の科学	2
	情報の科学	2

(3) 主体的学び科目群

科目分野	授業科目	単位数
キャリア形成系科目	自己との対話	1
	追手門アイデンティティ	2
	イ	
	キャリアデザイン	2
	ボランティア論	2
	キャリア形成プロジェクト	2
	キャリア言語	2

	キャリア数学	2		キャリア数学	2
	リーダーシップ入門	2		リーダーシップ入門	2
	ファシリテーション入門	2		ファシリテーション入門	2
	日本事情1	2		日本事情1	2
	日本事情2	2		日本事情2	2
キャリア展開系科目	リーダーシップ実地基礎演習	2	キャリア展開系科目	リーダーシップ実地基礎演習	2
	リーダーシップゼミナール1	2		リーダーシップゼミナール1	2
	リーダーシップゼミナール2	2		リーダーシップゼミナール2	2
	リーダーシップ実地発展演習	2		リーダーシップ実地発展演習	2
	キャリア実践英語1	2		キャリア実践英語1	2
	キャリア実践英語2	2		キャリア実践英語2	2
	インターンシップ実習I	1		インターンシップ実習I	1
	インターンシップ実習II	1		インターンシップ実習II	1
	インターンシップ実習III	1		インターンシップ実習III	1
	インターンシップ実習IV	1		インターンシップ実習IV	1
	プロジェクト実践I	1		プロジェクト実践I	1
	プロジェクト実践II	1		プロジェクト実践II	1
	プロジェクト実践III	1		プロジェクト実践III	1
	プロジェクト実践IV	1		プロジェクト実践IV	1
	スポーツケア演習	2		スポーツケア演習	2
	交換留学I	4		交換留学I	4
	交換留学II	4		交換留学II	4
	海外セミナー	4		海外セミナー	4
	短期海外セミナー	2		短期海外セミナー	2
	Japan Program (Japanese History and Literature) 1	2		Japan Program (Japanese History and Literature) 1	2

Japan Program (Japanese History and Literature) 2	2
Japan Program (Japanese Traditional and Contemporary Culture) 1	2
Japan Program (Japanese Traditional and Contemporary Culture) 2	2
Japan Program (Modern Japanese Society) 1	2
Japan Program (Modern Japanese Society) 2	2
Japan Program (Japanese Business and Management) 1	2
Japan Program (Japanese Business and Management) 2	2
Japan Program (Social Issues in Japan) 1	2
Japan Program (Social Issues in Japan) 2	2
海外インターンシップ	4
国際現地研修	4
グローバルキャリア論	2
日本事情3	2
日本事情4	2
留学生キャリア形成演習1	2

Japan Program (Japanese History and Literature) 2	2
Japan Program (Japanese Traditional and Contemporary Culture) 1	2
Japan Program (Japanese Traditional and Contemporary Culture) 2	2
Japan Program (Modern Japanese Society) 1	2
Japan Program (Modern Japanese Society) 2	2
Japan Program (Japanese Business and Management) 1	2
Japan Program (Japanese Business and Management) 2	2
Japan Program (Social Issues in Japan) 1	2
Japan Program (Social Issues in Japan) 2	2
海外インターンシップ	4
国際現地研修	4
グローバルキャリア論	2
日本事情3	2
日本事情4	2
留学生キャリア形成演習1	2

留学生キャリア形成演習2	2
--------------	---

別に定める放送大学の科目を修得した場合並びに大学コンソーシアム大阪単位互換協定により科目を修得した場合及び別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合は、主体的学び科目群の単位として認定する。

2 学科科目

(1) 文学部

人文学科

授業科目	単位数
新入生演習	2
日本学入門	2
人文学演習	2
日本文学概論1	2
日本文学概論2	2
古典基礎1	2
古典基礎2	2
日本語学概論1	2
日本語学概論2	2
日本史概論	2
グローバル化と日本	2
文化人類学	2
日本文化論	2
美学概論	2
日本美術史概論	2
建築文化入門	2
くずし字	2
博物館入門	2
人文学情報検索法	2
日本文学1 (古典)	2
日本文学2 (近現代)	2
日本文学3 (超域)	2
日本文学4 (漢文1)	2
日本文学5 (漢文2)	2

留学生キャリア形成演習2	2
--------------	---

別に定める放送大学の科目を修得した場合並びに大学コンソーシアム大阪単位互換協定により科目を修得した場合及び別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合は、主体的学び科目群の単位として認定する。

2 学科科目

(1) 文学部

人文学科

授業科目	単位数
新入生演習	2
日本学入門	2
人文学演習	2
日本文学概論1	2
日本文学概論2	2
古典基礎1	2
古典基礎2	2
日本語学概論1	2
日本語学概論2	2
日本史概論	2
グローバル化と日本	2
文化人類学	2
日本文化論	2
美学概論	2
日本美術史概論	2
建築文化入門	2
くずし字	2
博物館入門	2
人文学情報検索法	2
日本文学1 (古典)	2
日本文学2 (近現代)	2
日本文学3 (超域)	2
日本文学4 (漢文1)	2
日本文学5 (漢文2)	2

日本文学史1 (古典)	2	日本文学史1 (古典)	2
日本文学史2 (近現代)	2	日本文学史2 (近現代)	2
日本語学1 (音声・音韻)	2	日本語学1 (音声・音韻)	2
日本語学2 (文法)	2	日本語学2 (文法)	2
日本語史	2	日本語史	2
日本古代史	2	日本古代史	2
日本中世史	2	日本中世史	2
日本近世史	2	日本近世史	2
日本近現代史	2	日本近現代史	2
<u>西洋史概説1</u>	<u>2</u>	(新設)	(新設)
<u>西洋史概説2</u>	<u>2</u>	(新設)	(新設)
<u>東洋史概説1</u>	<u>2</u>	(新設)	(新設)
<u>東洋史概説2</u>	<u>2</u>	(新設)	(新設)
日本文化史1	2	日本文化史1	2
日本文化史2	2	日本文化史2	2
西洋文化史1	2	西洋文化史1	2
西洋文化史2	2	西洋文化史2	2
日本文化遺産論	2	日本文化遺産論	2
批評理論	2	批評理論	2
日本の芸能と文学	2	日本の芸能と文学	2
大阪・京都の文学	2	大阪・京都の文学	2
アジアの文学	2	アジアの文学	2
文学作品研究	2	文学作品研究	2
日本語の方言	2	日本語の方言	2
日本芸能史	2	日本芸能史	2
芸能研究	2	芸能研究	2
近代演劇論	2	近代演劇論	2
シナリオ論	2	シナリオ論	2
アニメ・漫画文化論	2	アニメ・漫画文化論	2
日本文学特殊講義1 (古典)	2	日本文学特殊講義1 (古典)	2
日本文学特殊講義2 (近現代)	2	日本文学特殊講義2 (近現代)	2
日本文学特殊講義3 (超域)	2	日本文学特殊講義3 (超域)	2
<u>書道1</u>	<u>2</u>	(新設)	(新設)
<u>書道2</u>	<u>2</u>	(新設)	(新設)
古文書学	2	古文書学	2
日本史料学	2	日本史料学	2
史料演習	2	史料演習	2

日本宗教・思想史	2	日本宗教・思想史	2
グローバルヒストリー	2	グローバルヒストリー	2
畿内・上方文化論	2	畿内・上方文化論	2
大阪学	2	大阪学	2
日本史特殊講義1	2	日本史特殊講義1	2
日本史特殊講義2	2	日本史特殊講義2	2
アジア文化論	2	アジア文化論	2
メディア文化論	2	メディア文化論	2
ポップカルチャー論	2	ポップカルチャー論	2
デザイン文化論	2	デザイン文化論	2
都市文化史	2	都市文化史	2
<u>建築文化計画</u>	<u>2</u>	(新設)	(新設)
都市景観論	2	都市景観論	2
<u>建築の環境1</u>	<u>2</u>	(新設)	(新設)
<u>建築の環境2</u>	<u>2</u>	(新設)	(新設)
生活文化史	2	生活文化史	2
居住空間史	2	居住空間史	2
住宅構法論	2	住宅構法論	2
日本建築史	2	日本建築史	2
西洋建築史	2	西洋建築史	2
近代建築史	2	近代建築史	2
<u>建築文化設計1</u>	<u>3</u>	(新設)	(新設)
<u>建築文化設計2</u>	<u>3</u>	(新設)	(新設)
地誌学1	2	地誌学1	2
地誌学2	2	地誌学2	2
<u>人文地理学概説1</u>	<u>2</u>	(新設)	(新設)
<u>人文地理学概説2</u>	<u>2</u>	(新設)	(新設)
<u>自然地理学概説1</u>	<u>2</u>	(新設)	(新設)
<u>自然地理学概説2</u>	<u>2</u>	(新設)	(新設)
日本文化特殊講義1	2	日本文化特殊講義1	2
日本文化特殊講義2	2	日本文化特殊講義2	2
日本文化フィールドワーク	2	日本文化フィールドワーク	2
日本語教育入門	2	日本語教育入門	2
日本語教授法	2	日本語教授法	2
日本語教育演習	2	日本語教育演習	2
日本語教育実習	1	日本語教育実習	1
(削除)	(削除)	書道1	2

(削除)	(削除)	書道2	2
国語科教育論1	2	国語科教育論1	2
国語科教育論2	2	国語科教育論2	2
国語科教育論3	2	国語科教育論3	2
国語科教育論4	2	国語科教育論4	2
電子出版	2	電子出版	2
第二言語習得	2	第二言語習得	2
言語と心理	2	言語と心理	2
博物館概論	2	博物館概論	2
博物館経営論	2	博物館経営論	2
博物館資料論	2	博物館資料論	2
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2
博物館展示論	2	博物館展示論	2
博物館教育論	2	博物館教育論	2
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2
コンピュータデザイン	2	コンピュータデザイン	2
博物館実習	3	博物館実習	3
製図基礎	2	製図基礎	2
建築の構造1	2	(新設)	(新設)
建築の構造2	2	(新設)	(新設)
建築文化論1	2	建築文化論1	2
建築文化論2	2	建築文化論2	2
建築文化論3	2	建築文化論3	2
建築文化論4	2	建築文化論4	2
(削除)	(削除)	西洋史概説1	2
(削除)	(削除)	西洋史概説2	2
(削除)	(削除)	東洋史概説1	2
(削除)	(削除)	東洋史概説2	2
(削除)	(削除)	人文地理学概説1	2
(削除)	(削除)	人文地理学概説2	2
(削除)	(削除)	自然地理学概説1	2
(削除)	(削除)	自然地理学概説2	2
法律学概論1	2	法律学概論1	2
法律学概論2	2	法律学概論2	2
社会学概論1	2	社会学概論1	2
社会学概論2	2	社会学概論2	2
哲学概論1	2	(新設)	(新設)

哲学概論2	2	(新設)	(新設)
倫理学概論1	2	倫理学概論1	2
倫理学概論2	2	倫理学概論2	2
社会科教育論1 (地理歴史分野)	2	社会科教育論1 (地理歴史分野)	2
社会科教育論2 (公民分野)	2	社会科教育論2 (公民分野)	2
社会科・地理歴史科教育論	2	社会科・地理歴史科教育論	2
社会科・公民科教育論	2	社会科・公民科教育論	2
社会教育概論1	2	社会教育概論1	2
社会教育概論2	2	社会教育概論2	2
<u>国際コミュニケーション論</u>	4	(新設)	(新設)
<u>国際事情</u>	4	(新設)	(新設)
<u>国際特別演習</u>	4	(新設)	(新設)
<u>国際表現演習</u>	4	(新設)	(新設)
文献講読	2	文献講読	2
専門演習1	2	専門演習1	2
専門演習2	2	専門演習2	2
専門演習3	2	専門演習3	2
専門演習4	2	専門演習4	2
専門演習5	2	専門演習5	2
卒業研究	6	卒業研究	6
(2) 国際学部		(2) 国際学部	
国際学科		国際学科	
(省略)		(省略)	
(3) 心理学部		(3) 心理学部	
心理学科		心理学科	
(省略)		(省略)	
(4) 社会学部		(4) 社会学部	
社会学科		社会学科	
(省略)		(省略)	
<u>(5) 法学部</u>		(新設)	
<u>法律学科</u>		(新設)	
(省略)		(省略)	
<u>(6) 経済学部</u>		<u>(5) 経済学部</u>	
経済学科		経済学科	
(省略)		(省略)	

(7) 経営学部

経営学科

(省略)

(8) 地域創造学部

地域創造学科

(省略)

(6) 経営学部

経営学科

(省略)

(7) 地域創造学部

地域創造学科

(省略)